

平成 19 年度 定期総会の概要

5月8日(火)、ホテルライフオーツ札幌において、平成19年度北海道へき地・複式教育研究連盟の定期総会を全道14地区の代議員の出席を得て開催しました。

この総会に、ご来賓として、北海道教育庁生涯学習部長(代理高橋裕教育指導監)様、道へき・複連OB会長三輪勇様のご臨席をいただきました。総会は、渡島、日高の代議員の加屋本・谷口両氏の議長により次第に従って議事が進められました。

◆主な総会内容

1. 業務報告

(1) 平成 18 年度会務報告

- ①事務局(会務報告、一般経過報告、その他)
②総務部 ③研究部 ④大会部 ⑤財政部

(2) 平成 18 年度組織検討委員会報告

- (3) 平成 18 年度会計決算報告
(4) 平成 18 年度会計監査報告

2. 議事

(1) 平成 18 年度各部会務報告承認に関する件

(2) 平成 18 年度会計決算報告並びに監査報告承認に関する件

(3) 平成 19 年度活動方針並びに各部活動計画について

- ①事務局 ②総務部 ③研究部 ④大会部
⑤財政部

(4) 平成 19 年度会計予算に関する件

(5) 平成 22 年度以降の全道大会・全国大会開催予定地区について

(6) 第 56 回全道へき地複式教育研究大会空知大会について

(7) 第 57 回全道へき地複式教育研究大会檜山プレ大会について

4. 感謝状贈呈

本連盟の活動に貢献されました次の方々を梅木登喜雄委員長より感謝状が贈呈されました。

平成 18 年度感謝状贈呈者

副委員長	相馬 豊 氏
監査委員	牧野 喜充 氏
監査委員	谷内 弘司 氏
研究推進委員	講神 隆史 氏
	西多 芳光 氏
	谷口 薫 氏
	岡嶋 治 氏
	中西 敏樹 氏
	井尻 崇 氏
	鈴木 隆雄 氏

平成 19 年度 活動方針・各部計画

◇◇◇ 基本方針・具体的内容 ◇◇◇

1. 「へき地性」「小規模性」「複式形態」の3特性を生かした教育の充実を図るための研究活動をより一層強力に推進する。

(1) 第7次長期5か年研究推進計画第4年次の研究に取り組む。

(2) 課題別・共同研究の深化と拡充に努める。

(3) 第56回全道へき地複式教育研究大会空知大会の成功に向け取り組む。

(4) 第57回全道へき地複式教育研究大会檜山プレ大会への取組を推進する。

(5) 第23回北海道へき地複式教育実践研究発表大会の充実を図る。

(6) 全道、各地区の研究成果を還流する。

2. 組織の強化と充実を努める。

(1) 各地区へき・複連との連携、組織の強化を図る。

(2) 事務局業務の効率化と情報・要請活動の活発化を図るとともに、組織体制の改善について検討する。

(3) 各部活動の連携を密にして、執行体制の見直しを図り、その強化に努める。

(4) 未加盟校及び非複式のへき地小規模校の加盟促進を図る。

(5) 組織検討委員会を継続設置し、組織体制の改善・財政上の諸課題の解決を図る。

(6) 連盟OB会との連携を図る。

(7) 適切な予算執行に努める。

3. 教育条件の整備と拡充に努める。

(1) へき地・小規模・複式学級を有する学校の一層の条件整備を進める。

(2) 教職員の待遇改善を図る運動を進める。

(3) 「へき地学校等級別指定見直し」にかかわる調査・要望活動を進める。

(4) へき地・小規模・複式学級を有する学校及び地域の課題等の実態把握に努め、その対策について検討を進める。

4. 関係機関・関係団体との連携を一層強化する。

(1) 北海道教育委員会、北海道立教育研究所、北海道小学校長会、北海道中学校長会、北海道PTA連合会、北海道教育大学へき地教育研究センター及び同大学各校、全国へき教育研究連盟等との連携を密にして、研究活動の深化や条件整備、待遇改善に努める。

(2) 「全国へき地教育新聞」への寄稿、購読の拡大に協力する。

(3) 各関係機関、関係団体との成果、資料の交流を図る。